

こども運動塾に参加

角田小学校 1 年

田中 彩良さん (7歳)

母：麻里さん (34歳)

弟：颯真くん (4歳)

【彩良さん】

お母さんに勧められて始めました。コーチとも仲良くなれた。体を動かせるのでとても楽しい。

【母：麻里さん】

娘は、体を動かすことが好きなので勧めました。角田地区では、スポーツ少年団などで運動をする機会がありません。普段は、家に帰ってきてても、友達の家が遠いので、遊びに行くのも大変です。こども運動塾で体を動かすことができるので、お母さん仲間からもとても評判が良いです。息子も小学校に入学したら、参加させたいと思っています。

参加者の声『私たちは楽しんでいます！』



ベビーマッサージ教室に参加

冬野 文さん (33歳)

花歩ちゃん (11カ月)

とても楽しかったです。家に帰ってからもマッサージをしてあげるとニコニコして気持ちよさそうでした。参加すると、初めて会うお母さんたちに出会えたので、とても良い機会になりました。



サッカーに参加

宇部 隆行さん (39歳)

知人に勧められて入会しました。サッカーをすると気持ちがリフレッシュできます。仕事が忙しい時にも、はかどるようになりました。いろいろな人とも出会えてとても楽しいです。週に1度、童心に返ってサッカーを楽しんでいます。



健康運動教室に参加

山崎 志津子さん (57歳)

2年前に仕事をやめ、何かやりようと思い健康運動教室に通いました。家で一人だとなかなか運動を続けられませんが、皆と一緒に意識しあえるので続けられます。教室は運動することだけでなく、出会いの場としても楽しめます。



サンクススポーツクラブの取り組み

スポーツで地域の

笑顔をつなげたい

地域のスポーツ
環境を守りたい

「スポーツをしたいけど一緒にする仲間がいらない」「レベルが高すぎてついていけない」「勝負にこだわり過ぎておもしろくない」など、地域のスポーツ活動は、これまでいくつかの問題を抱えていました。

そういった問題に対応するため、文部科学省は地域の幅広い人たちに、気軽にスポーツを楽しんでもらおうと『総合型地域スポーツクラブ』（以下、クラブ）の設立を推進してきました。以来、10年が経過し、既に全国の自治体の約7割、全道では約6割もの自治体にクラブが設立されました。栗山町の『サンクススポーツクラブ』もそのひとつです。サンクススポーツクラブは、栗山町内を取り巻くスポーツ環境の地域差に目を向け、平

成23年に総合型地域スポーツクラブとして活動をスタートしました。少子化などにより、スポーツをする機会が少ない地域の子どもたちや、成人、高齢者まで、地域や世代に差をなくし、気軽にスポーツを楽しんでもらおうと誕生したスポーツクラブです。

スポーツは何を
もたらすのか

人は、なぜスポーツをするのでしょうか。そして、スポーツは、私たちに何をもたらしているのでしょうか。クラブに参加した方の体験談や、スポーツを勧める現場の声、地域のスポーツ環境を支える人たちの声をもとに考えてみましょう。



角田小学校
千葉 潤 校長

教育の現場から

達成して生まれる 喜びを感じてほしい

**ここぞという時に
踏ん張れる子に**

全国的に子どもたちは、運動をする子、しない子に二極化しています。それは、町内の子どもたちにも当てはまります。運動の基本である『歩く』ということも、子どもたちは少ないように感じます。移動のほとんどを車に頼っている車社会も原因の一つでしょう。

私は花に水をやりたり、草をむしったり、普段から体のいろいろなところを使うことも運動だと思っています。運動は、日常的なもので生活の一部です。競技性の強いスポーツも結局は体全体を使います。すべては体を動かすところから始まります。

昨年の秋、ある学年の子どもたちが、朝の授業の前に、グラウンドをジョギングする取り組みをしました。最初は1周だったものが、日が経つにつれて、2周、3周と走る量を増やしていきました。子どもたちは、しつかりと目標を立てて、それを達成しようと、粘り強く頑張ったのです。体を動かす爽快感のほかにも、特別な達成感を得たに違いありません。朝のジョギングは、単に身体を健康にするだけでなく、やり遂げる喜びを与えてくれたのです。

時には、跳び箱や、鉄棒の逆上がりなどで、子どもたちは苦労を経験するかもしれません。それらを乗り越え、へこたれなさを、ここぞという時に踏ん張れるようになってもらいたいです。

総合型地域スポーツクラブは、スポーツだけでなく、学校以外の地域に出て、社会性を身につけることもできます。子どもたちには、スポーツを通して、いろいろな人と出会い、人間的にも社会的にも、たくましく育ってもらいたいです。

健康・福祉の現場から

簡単な運動から はじめてみませんか

**健康でいられる
寿命を長くする**

日本人の平均寿命は男性が79歳、女性が86歳です。日本は、世界でもトップクラスの長寿国です。平均寿命が長いと聞くと、その分長く元気に生活ができると思われるかもしれませんがありません。しかし、そうではありません。多くの方は、健康のまま寿命をむかえることができずに支援や介護が必要な『不健康』とされる期間が存在します。健康的に生活できる『健康寿命』を延ばし、『不健康寿命』をいかに短くするかが大きな課題になっています。

健康寿命をのばすために重

要になるのが運動です。介護が必要になる原因の上位を占める脳梗塞や高血圧症、認知症の予防には運動習慣をもつことが有効です。高血圧症は動脈硬化を進行させ、脳梗塞の原因となります。運動は高血圧症を改善するだけでなく、脂質異常症（高脂血症）や糖尿病も防ぎ、結果的に脳梗塞の予防につながります。これらの生活習慣病を予防するためには、特に若い年代から運動習慣をもつことが大切になります。

高齢者の方にも、運動をきっかけに外出や人と会う機会が増え、生活にハリが出て、身体面だけではなく精神面にもよい影響があります。また、体を動かすことで、脳も活性化され、認知症の予防にも効果があります。

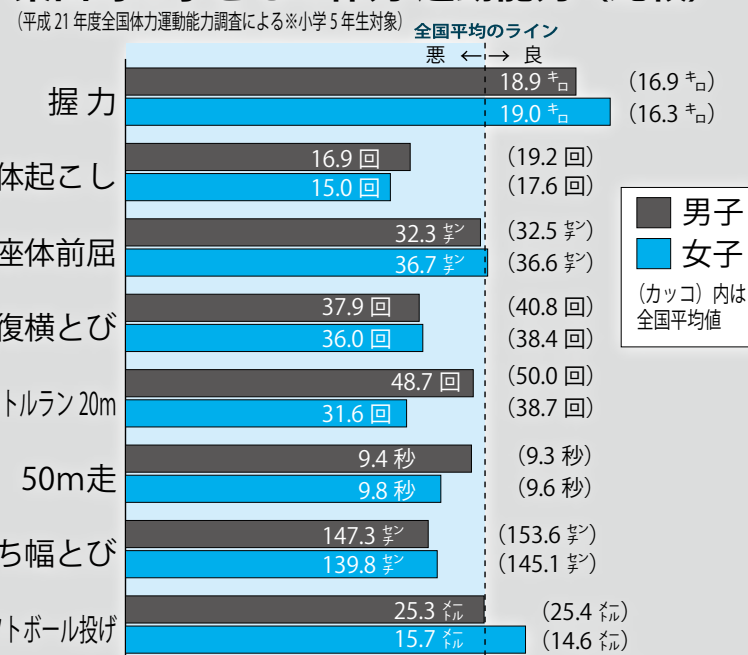
総合型地域スポーツクラブで無理のないプログラムを選んで運動を継続して行うことをお勧めします。参加者間での相乗効果も生まれ、みんながいるから頑張ろうと、やる気にもつながり、新たな生きがいにつながることもあります。

その人がその人らしく生きていくために、スポーツを通して健康について関心を持つてみませんか。

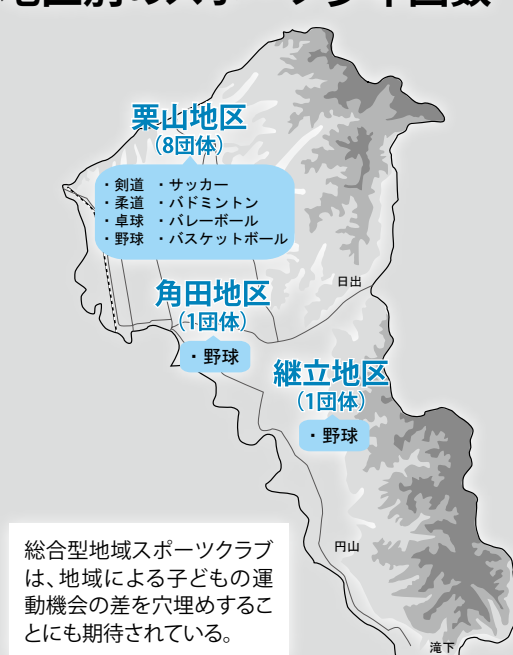


町地域医療・保健対策室
初田 千恵 保健師

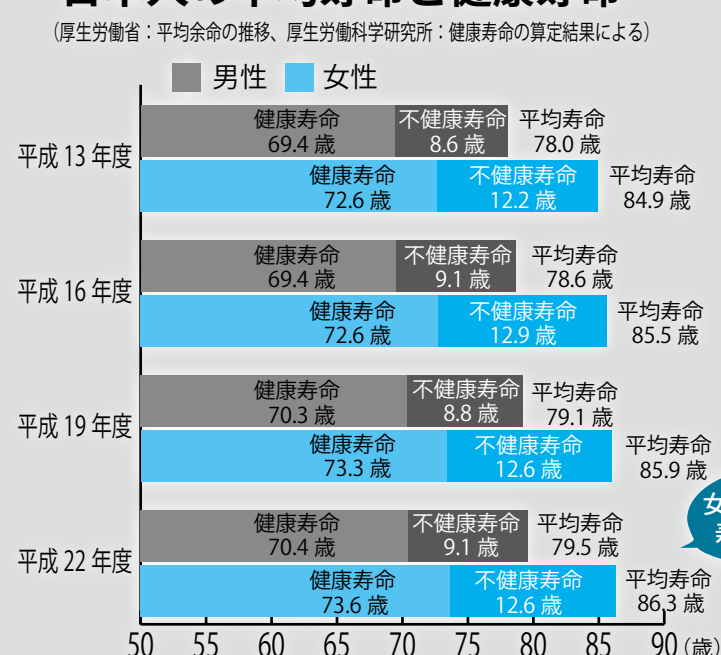
栗山町の子どもの体力・運動能力（比較）



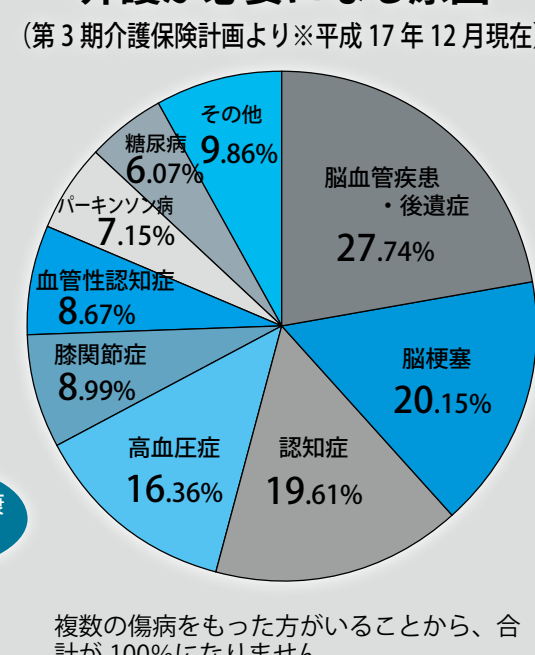
地区別のスポーツ少年団数



日本人の平均寿命と健康寿命



介護が必要になる原因





総合型地域スポーツクラブ「サンクススポーツクラブ」

鈴木 貴浩 理事長

スポーツで笑顔の まちを作りたい

各地の子どもたちを見てみると、札幌などの都会に住む子どもは、運動神経が良いことがわかります。田舎の子どもは外遊びをし、都会の子どもは外遊びをしないイメージを持つ方が多いようですが、都会の子どもこそ、整備された公園の遊具で遊び、体を動かすことを楽しんでいます。これは、栗山町内で考えた場合でも同じことが言えるでしょう。このままでは住む地域により差が出てしまいま

す。こういった問題に、サッカーで培った知識を生かすことができないか。子どもたちに運動の楽しさやすばらしさを感じてほしい。・、その思いから総合型地域スポーツクラブを設立しました。スポーツの良さを伝える相手は子どもだけではありません。クラブの理念は『スポーツを通して一流の人になるう』です。子どもたちは大人を見て育ちます。子どもを育てていくのも大人です。町民それぞれが一人の人間として努力し、学んでいこうという姿が、子どもたちや、地域の

環境を変えていくのです。これからは、子どもが一つのものでなく、いろいろなものに挑戦できる仕組みを作って行きたいです。そこに、地域の大人たちが、指導者として関わりをもってもらえれば、もって地域は活性化するはずです。地域を変えていくには、子ども、大人、町、皆が変わらなくてはなりません。世代を超えた皆の努力が、いろいろなものを発信していくと信じています。栗山町が、スポーツを通して笑顔が溢れる豊かな町になるように頑張ります。

地域のニーズに 応えるクラブに

私たちが、総合型地域スポーツクラブ（以下、クラブ）の設立を推進する大きな理由は、地域で活動するスポーツの環境を改善することです。少子化の影響で、子どもたちがスポーツをしたくてもできなかったり、指導者が高齢になり次を担う若い世代がいなかったりと、地域では、スポーツをする環境が変わってきています。この先の10年後、20年後も、地域のスポーツ環境を守っていかなければなりません。

北広島市のクラブでは、会員が講師になったケースがたくさんあります。ある方は、会員として参加しているうちに『自分ができることが自分の役割』と、とらえて、スポーツではありませんが、そば打ちの講師をかって出られました。このように地域の中から



10年後も 20年後も
地域のスポーツの環境を守る

ボランティアのような講師が加わると謝礼も抑えられることから料金が安くなり会員の増にもつながっていきます。町にとっても、クラブとの連携はとても重要です。連携すること、町が行う体育事業などにも、クラブが持つノウハウを生かすことができ、より良い事業を運営することができます。また、その事業でスポーツに関心を持った方の受け皿役を、クラブが担うことができます。このように相互にとって良い効果が生まれます。

総合型地域スポーツクラブは、地域で作りにくいクラブです。クラブが地域に貢献していくことで理解度・認知度が増し、これから50年後、100年後にも地域と一緒に運営し続けられるクラブになるでしょう。

スポーツのこれから、地域のこれからの考える

協力し合い 地域のために

最近では、少子化などの影響もあり、子どもたちのスポーツをする機会が減っています。特に、角田地区や継立地区では少年団や部活動が少なく好きな種目を選ぶことができません。また、高齢者の方にとってもスポーツをしやすい環境とは言えません。栗山町には、17の体育協会加盟団体があり指導者にも恵まれています。そのほとんどは本格的で、競技性が強いものです。『運動をしたくてもできない』方にとって、総合型地域スポーツクラブは運動をする良いきっかけになるでしょう。



クラブを交えて行われた
スポーツ推進委員会議

まだ、クラブは認知度が高くありません。地域に出てニーズに耳を傾け、しっかりと基礎を固める必要があります。それには、私たちスポーツ推進委員が、町の社会体育事業で積んだノウハウを生かして、クラブをバックアップしていかなければなりません。スポーツ推進委員はクラブと協力しあい、地域のスポーツ環境をより良くするため取り組んでいきます。

サンクススポーツクラブの事業予定

種 目	時 期
サンクFCくりやま (サッカー)	通年
ハッピーハウス (マラソン)	通年
こども運動塾	1期 実施中 2期 10月～ 3期 来年1月～
ハッピー教室 (健康運動教室)	近日予定
ニュースポーツクラブ (軽スポーツ)	近日予定
フットサルクラブ (フットサル)	近日予定
ハッピー講座 (親子教室&各種イベント)	未定

スポーツから 生まれる笑顔

社会的に暗い話題が多い中、明るい話題と言えやはりスポーツの話題です。7月末から、いよいよロンドンオリンピックが開催されます。スポーツはたくさん笑顔が生まれます。私たちのもとにも、たくさん笑顔が届けられるでしょう。



【問い合わせ】
サンクススポーツクラブ
☎72-6655

せん。地域の人間関係が希薄化していると言われる中、スポーツを通して、新しく人と人とのつながりが形成されていたのです。一人ひとりが地域に参加し、活躍できる場や、生きがいを持てる場を作ること、地域には笑顔があふれ、健康で豊かなまちへと発展するのではないのでしょうか。



公益財団法人北海道体育協会
総合型クラブ育成アドバイザー

久保田 智さん

ボランティアのような講師が加わると謝礼も抑えられることから料金が安くなり会員の増にもつながっていきます。町にとっても、クラブとの連携はとても重要です。連携すること、町が行う体育事業などにも、クラブが持つノウハウを生かすことができ、より良い事業を運営することができます。また、その事業でスポーツに関心を持った方の受け皿役を、クラブが担うことができます。このように相互にとって良い効果が生まれます。



栗山町スポーツ推進委員

岡山 典弘 委員長



角田小学校



継立小学校



継立保育所



継立小学校



いちい保育園



継立小学校



栗山小学校



栗山小学校



継立小学校



いちい保育園



継立保育所

笑顔！！一等賞！！



栗山小学校

角小のしだれ柳！何十年も運動会を見守ってきた



角田小学校

母の威厳は守られた



継立小学校

お父さんはサルに変身



継立保育所

おばあちゃん頑張って！



栗山小学校

お父さんは力持ち！



角田小学校

平成 24 年 運動会

「栗っ子」たちが
青空の下で
元気っぱい
駆け回りました



いちい保育園



いちい保育園



栗山小学校



角田小学校



継立保育所



栗山小学校



角田小学校



継立保育所

知っておきたい まちの予算 よさん

栗山町の予算と財政状況 vol.3

【問い合わせ】
町経営企画課
行政経営グループ
☎ 73 7503

知っておきたい 支出の構成

今回は、さまざまな事業を進めていく上で必要となる「まちの支出（歳出）」の構成についてお伝えします。まちの支出である「歳出」は、その使い道を「目的別」、「性質別」の2つの視点から見ると、行政サービスの水準や特色などが分かりやすくなります。目的別は、民生費、教育費、商工費などの行政目的ごとに、事業費を積み上げて表す方法のことをいいます。これに対して性質別とは、人件費、扶助費、公債費などの経費を性質ごとに分類して表す方法のことをいいます。ちなみに、町議会へ提案する予算書は、目的別の予算となっています。

目的別から見る歳出

平成24年度一般会計予算を目的別で見ると、職員の給料や、町の施設管理などに係る総務費が15億2,207万円と最も多く、次いで、児童、高齢者、障がい者福祉などに係る民生費が14億7,064万円、借入金返済にあたる公債費が14億5,432万円という順になっています。なお、前年度と比較して、大きく増減したのは昨年最も多かった公債費で、返済金の減により8,196万円減少し、農林水産業費ではエゾシカ農業被害緊急対策事業の完了などにより7,389万円の減少となりました。また、総務費では、今後実施する修繕事業のため積立金の増加などにより9,856万円増加し、消防費では、高規格救急車の購入な

性質別歳出の構成

性質別から見た歳出は、その性質から大きく3つに分類しています。まず、主な支出のうち人件費、扶助費、公債費を合わせた経費を「義務的経費」といい、法令などにより支出が義務付けられ、任意に削減できない経費となっています。また、道路や公共施設の建設費など、社会資本の整備に要する経費を「投資的経費」といい、義務的、投資的経費以外で、町の判断により支出が可能となる「その他の経費」に分類しています。本町では、義務的経費の割合が46.5%を占めており、この経費が増加すると財政構造の硬直化につながり、町が独自に実施する事業を削減しなければなりません。

性質別歳出の内容と主な予算項目

※金額は平成24年度予算額

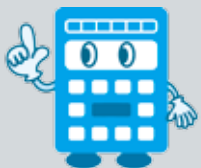
義務的経費の内訳		投資的経費の内訳	
人件費	職員給与や議員・委員報酬などの経費 【主な項目】 ■職員給与（手当含） 7億6,073万円 ■議員報酬（手当含） 4,522万円 ■委員報酬 2,192万円	普通建設費	道路や公共施設を整備する経費 【主な項目】 ■町道改良整備 8,388万円 ■町道歩道整備 3,460万円 ■公営住宅整備 2億8,408万円
扶助費	社会保障の一環として児童・高齢者などを支援する経費 【主な項目】 ■障がい者自立支援給付費 3億7,893万円 ■子ども手当給付費 1億9,316万円 ■老人福祉施設措置費 9,087万円	災害復旧事業費	災害で被災した施設などを復旧する経費 312万円（－）
公債費	町の借入金を償還する経費 【主な項目】 ■元金償還 12億7,082万円 ■利子償還 1億8,249万円		
その他の経費の内訳			
物件費	賃金、旅費、需用費などの経費 【主な項目】 ■臨時職員賃金 5,608万円 ■職員、議員、委員等旅費 1,569万円 ■光熱水費ほか需用費 2億5,259万円		
維持補修費	道路や公共施設の修繕など施設を維持する経費 【主な項目】 ■公共施設等の修繕 7,458万円		
補助費等	各種団体への負担金、補助金などの経費 【主な項目】 ■南空知消防組合負担金 3億2,438万円 ■下水道事業会計負担金 2億3,094万円		
その他	・繰出金 3億4,089万円 ・貸付金 1億684万円 ・積立金 19万円 ・投資及び出資金 903万円 ・予備費 100万円		

予算の豆知識！

補正予算とは？

年度の途中で緊急的な工事や修理などで新たな支出が発生した場合や事業の執行により減少が生じた場合に、当初に作成した予算を変更する予算を作成します。この予算を「補正予算」と言います。

補正予算は年度の途中に開催される町議会の議決により決定します。本町では、6、9、12、3月の年4回の定例議会で補正予算を審議しますが、緊急にその他の月でも補正予算を作成し、臨時議会で審議することがあります。



「財政モニター制度」がスタートします

まちの財政情報に対して、ご意見、ご提言をいただく「財政モニター制度」の取り組みとして、一般公募による4人の方と、中学校・高校からの推薦による5人の方をモニターとして委嘱しました。

今後、モニターの皆さんからのご意見などをもとに、より分かりやすくタイムリーな情報発信に努めてまいります。

■一般公募

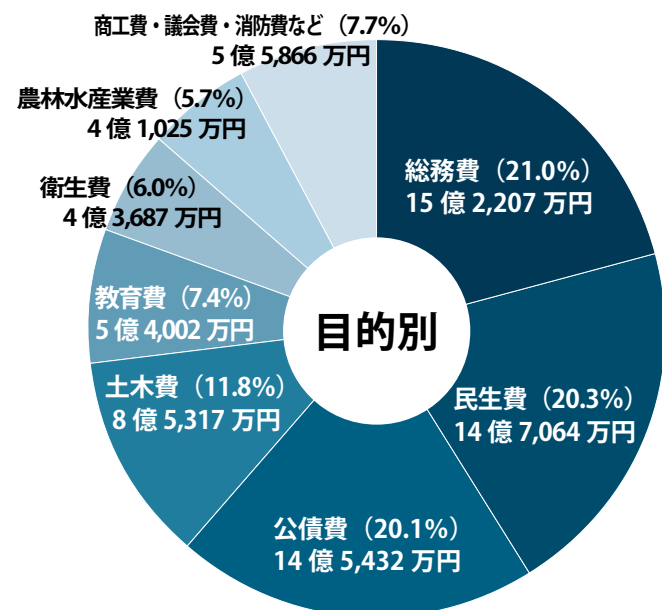
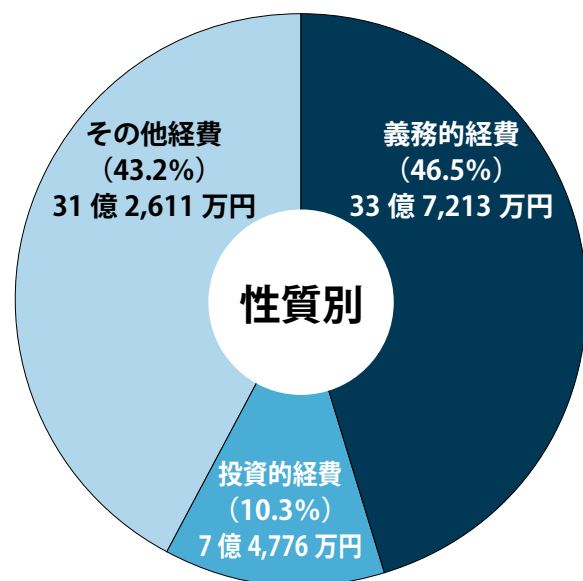
丸山 俊信さん（湯地）
青木 隆夫さん（湯地）
大沼 英明さん（松風2）
丸山 富子さん（朝日4）

■中学校・高校推薦

山口 実久さん（栗山中）
信太麻由子さん（栗山中）
横岡 誠也さん（継立中）
西下 珠令さん（継立中）
安田 光さん（栗山高）

※モニターの任期 平成24年6月～平成25年3月

平成24年度一般会計予算「性質別」「目的別」の構成 予算額72億4,600万円



くりやまの自治基本条例をつくる会

町民が考える自治基本条例づくりを目指して

活動中!!

「くりやまの自治基本条例をつくる会（高橋慎代表）」では、今年9月の町長への条例骨子提案に向けて、町内の小中学生や子育て世代（女性）とのワークショップ、各町内連合会や分野別団体との懇談会の開催、町内全世帯対象のアンケート調査の実施など、より多くの町民の皆さんに条例について知ってもらい、多様な意見を集める活動を展開しています。

みんなで作る
まちの憲法

9月までに検討している町民参加事業

- 6月**
- 6月13日（水） 育児サークル「まめっこ」との懇談会（児童センター）
 - 6月22日（金） 継立小学校・中学校関係者との懇談会（継立小学校）
 - 6月29日（金） 角田・継立・日出町内連合会との懇談会（南部公民館）

- 7月**
- 教育・文化・スポーツ団体関係者との懇談会
 - 福祉・ボランティア団体関係者との懇談会
 - 子育て世代との懇談会

- 8月**
- 町内小学生との体験型学習・懇談会
 - 栗山町内連合会との懇談会
 - 全世帯対象アンケート調査（町広報8月号）

- 9月**
- 各青年団体関係者との懇談会
 - 町内中学生との体験型学習・懇談会
 - 町長への条例骨子提案



町では、つくる会の提案後、条例案作成に向けて、さらに懇談会・説明会等を開催し、多様な町民参加機会の充実に努めます。

育児サークル「まめっこ」との懇談会を開催（6月13日 児童センター）

6月13日には、町民との懇談会の第1回目として育児サークル「まめっこ」の皆さんとの懇談会を開催、つくる会メンバーも参加し約20人で意見交換を行いました。「まちの情報の共有とは?」「町民の声を届ける仕組みとは?」など、自治基本条例の基本となる「情報共有」と「町民参加」のあり方について話し合いました。

【意見交換の主なポイント】

- 町に意見を言う手段が分からない。“集める”のではなく、町民が集まる場に“来てくれる”方が、参加がしやすい。
- 言った意見がどうなるのか。たとえ採用されなかったとしてもその理由は何か? しっかり応答できることが大事。
- 何の課題で、どこまでを…参加・意見を求める目的を明確に。
- 情報や意見のキャッチボールは早いほうが良い。
- 決まった情報のお知らせが多い。決まる前に課題を知り、話し合い理解し合う過程があれば、結果に対しても納得できるのでは。



※この他にも、まめっこの皆さんからは、情報づくりにつながるたくさんの率直な声、意見をいただきました。

町民の皆さんのご協力を!

町広報8月号で全世帯アンケートを実施します。

◎自治基本条例の必要性・認知度や、情報公開や町民参加、住民投票の仕組みなどについて、広く町民の皆さんの意識を調査します。

◎町広報8月号の紙面に返信ハガキを添付します。

※アンケートにお答えいただき、そのハガキを切り取ってポストに投函してください。

第37回 くりやま夏まつり

7月20日（金）・21日（土）

<20日（金）>

◇駅前通り商店街

- 11:30～14:00 ザ・カレー市場
- 12:00～15:00 ゲートボール大会
- 12:00～20:30 ビアガーデン
- 13:00～20:00 ジンギスカン広場
- 13:00～20:00 輪投げ
- 13:00～20:30 自由広場・ゲームでがっばり
- 14:00～18:00 運々セール
- 15:30～16:30 サマーコンサート
- 17:00～19:00 ザ・カレー市場
- 17:30～20:30 ロックコンテスト
- 18:00～19:00 北の錦試飲会
- 18:00～19:00 子どもみこし
- 18:30～19:30 郷土芸能パレード（かさおどり・郷土おどり・介護学生よさこい）
- 19:30～20:30 活みこし

◇商店街イベント広場

- 12:00～20:30 一町多品出店（出店11店）
- 15:30～15:40 栗山いちい保育園お遊戯発表
- 15:40～16:00 栗山小学校ブラスバンド
- 16:00～16:30 食育ゲーム大会
- 16:30～17:30 リズムジャムダンスショーケース!
- 17:40～18:00 郷土芸能「銭だいて」

<21日（土）>

◇駅前通り商店街

- 10:00～20:30 自由広場・ゲームでがっばり
- 11:00～14:00 3on3 バスケットボール大会
- 11:00～20:00 輪投げ
- 11:00～20:30 ビアガーデン
- 11:30～14:00 ザ・カレー市場
- 13:00～20:00 ジンギスカン広場
- 14:00～18:00 運々セール
- 14:00～18:00 トーク DE 二番街
- 17:00～18:00 北の錦試飲会
- 17:00～19:00 ザ・カレー市場
- 18:00～20:00 全道和太鼓フェスティバル
- 20:00～20:30 打上げ花火大会（駅前通り商店街でご覧ください）

◇商店街イベント広場

- 12:00～20:30 一町多品出店（出店11店）
- 13:00～13:30 カラオケのど自慢大会（前半の部）
- 13:30～14:00 NASTYバンド演奏
- 14:00～15:10 カラオケのど自慢大会（後半の部）
- 15:10～15:40 極真空手演武
- 15:40～16:00 カラオケのど自慢大会審査発表
- 16:00～16:10 くりやま OH!! 夢乱咲演舞
- 16:10～17:10 新鮮野菜オークション

【協賛行事】

行 事 名	主 催 者	実施日	会 場
全町柔道大会	栗山町柔道協会	21日	スポーツセンター
北の錦試飲会	小林酒造・栗山町料飲店組合	20日・21日	駅前通り商店街
3on3バスケットボール大会	バスケットボール協会	21日	駅前通り商店街
山草盆栽展	栗山山草会	20日・21日	カルチャープラザ「Eki」

◆問い合わせ くりやま夏まつり実行委員会（商工会議所内） ☎ 72-1278